

5月に入り、新緑が特に美しい季節になりました。図書室からは木々の緑に加え、美しいバラを見ることができます。図書室に来た際は、ぜひ、窓の外にも注目してみてくださいね。

さて、図書委員会では1年を通し、学年ごとテーマを決めておすすめの本を紹介していきます。今月は裏面に高校2年生のおすすめの本を掲載しています。



図書室でできること

図書室には本だけでなく、新聞・雑誌も置いてあります。

★ 新聞

(図書室内で見てください)

- ・朝日新聞
- ・読売新聞
- ・毎日新聞
- ・山梨日日新聞
- ・朝日中高生新聞

1週間分のニュース
が分かりやすく、
学生に役立つ情報が
満載の新聞です。

★ 雑誌

(貸出可能)

- ・オレンジページ【料理・暮らし】
- ・SCREEN【映画】
- ・Newton【理科】
- ・月刊MOE【絵本・生活】
- ・ダ・ヴィンチ【本・マンガ】
- ・月刊ニュースがわかる
【学生向けニュース】

- ・コピー機…1枚(1面)10円で利用可能 ※iPadからの印刷はできません
- ・問題集…英検、漢検、数検などの参考書があります。貸出可能です
- ・小論文分野別推薦図書…環境、教育、医療、心理など、各分野ごとにまとめてあります。面接対策、小論文対策の本もあります
- ・学習席…席はテスト勉強等で18:00まで利用できます。※17:00以降の利用は名簿に記入をしてください

『カフネ』 阿部暁子／著 講談社

本屋大賞2025年受賞

『薬屋のひとりごと』 1～5巻 日向夏／著 主婦の友社

『本当に危ない闇バイトの話』 廣末登／監修 金の星社

『おとぎ話はなぜ残酷でハッピーエンドなのか』

ウェルズ恵子／著 岩波書店

～リクエストで入った本～ リクエストは随時受付中!

『変な絵』 雨穴／著 双葉社

『ラストで君は「キュン!」とする 涙の告白』

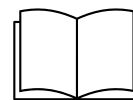
PHP研究所／編 PHP研究所

『部長会議はじまります』

吉野万理子／作 朝日学生新聞社

ほか多数

電子図書館のおすすめ本



『スーパーカブ』1～8巻＋短編集

トネ・コーケン・著／博・イラスト KADOKAWA



山梨県北杜市が舞台の物語です。女子高生の小熊が、二輪車のスーパーカブを手に入れたことで変化し始めた日常を丁寧に描いています。2021年にはアニメ化もされました。

十二国記

新潮文庫 小野不由美



「あなたは私の主、お迎えに
参りました」

普通の女子高だった生陽子は、ある日突然十二国から来た金髪の麗人に連れ去られた。海に映る月の光をくぐり抜け、辿り着いたのは地図にはない国、、、少し変わった青春を体験してみませんか？是非手にとってみてください！



52ヘルツのクジラたち

中央公論新社 町田そのこ

「その声は、あなたに届く。」

52ヘルツのクジラとは、他の鯨が聞き取れない高い周波数で鳴く、世界で一頭だけのクジラ。たくさんの仲間がいるはずなのに何も届かない、何も届けられない。そのため、世界で一番孤独だと言われている。自分の人生を家族に搾取されてきた女性・貴瑚と、母に虐待され「ムシ」と呼ばれていた少年。孤独ゆえ愛を欲し、裏切られてきた彼らが出会い、新たな魂の物語が生まれる。

青春の中にある孤独と闘っている人にぴったりな本で、読み終わった後には心がじんわりと温くなるような物語です。ぜひ読んでみてください。



嘘の世界で、忘れられない恋をした

メディアワークス文庫 一條岬

「幸せを失うかもしれない人間が、
今の幸せを簡単に諦めないで。」

ある日、余命宣告を受けてしまった月島誠。残りわずかな命だと分かっているけど、自分の人生に悔いのないよう生きて行こうと、ずっと想いを寄せていた美波翼に想いを伝えます。その告白を機に、誠は翼が所属する“映画製作部”に入部することになるのですが... 12月49日の意味とは... 友情、恋愛、家族...様々な愛と青春を感じられる作品です。ぜひ、読んでみてください。



高校2年生 図書委員 おすすめ本 テーマ「青春」

君は月夜に光り輝く

メディアワークス文庫 佐野徹夜

「もうすぐきっと、最後の瞬間がやってきます。
これが本当に真正正銘、最後のお願いです。」

大切な人の死から、どこかなげやりに生きてる僕。高校生になった僕のクラスには、「発光病」で入院したままの少女がいた。月の光を浴びると体が淡く光ることからそう呼ばれ、死期が近づくとその光は強くなるらしい。

余命わずかな彼女に、死ぬまでにしたいことがあると知り... 「それ、僕に手伝わせてくれないかな?」「本当に?」この約束から、止まっていた僕の時間がふたたび動きはじめた。

死へと向かう病がテーマですが、暗い雰囲気ではなく楽しく前向きな作風です。泣ける青春小説に興味がある方におすすめです。ぜひ読んでみてください。



おいしくて泣くとき

ハルキ文庫 森沢明夫

「もしも誰かに相談したくなったときは、
いったん周りを冷静に見渡してみ、
いちばん格好いいと思える大人に話してみるといいよ。」

実家で子ども食堂をしている心也と家に居場所がない夕花。二人はひょんなことから「ひま部」を結成し、距離を縮めていきます。しかし、ある事件をきっかけに夕花は姿を消してしまい、最後の展開は、誰も思わず涙してしまおうでしょう。

37年間という長い青春の中で、学生の心理描写となんだかヤキモキする二人の距離が、美しい言葉で表現されており、胸がキュッとなる作品です。ぜひ、読んでみてください。



化物語

講談社BOX 西尾維新

青春に、おかしなことはつきものだ!

高校3年生の阿良々木暦は春休みにとんでもない『事件』に巻き込まれて以来、人とは少しだけ異なった部分があった。お人よしで正義漢な彼が「怪異」に関わった少女達と出会い、その度に助力を得ながらその怪異にまつわる事件に自ら首を突っ込み、解決していく物語。

SFファンタジーのような非日常と、男子高校生がおくる青春の日常が混じり合う不思議な小説です。上巻下巻の二巻構成となっていますので、是非二巻とも読んでみてください。

